

タイ



短期研修生

1989年

バムルン・カヨータさん (男性・農業・サイナワン)

1991年

トンスク・チョンプラートさん (男性・農業・サイナワン)

1993年

チャラムサック・カッティアさん (男性・農業・チェンマイ)

2006年

シューキヤさん (男性・農業・メーサリアン)

メーホンソン県メーサリアン

ブリチャー・ムアンチャンさん

(男性・48才・3期・85年度・短期94年)
-農業 (稲作、野菜、畜産)
帰国後10年余は村の学校で農業を教えたが、今は店の経営を通して、生活改善を支援する。この地域のまとめ役。



アンボン・クルワンさんさん

(男性・38才・15期・97年度)
-農業 (野菜、養鶏)、淡水魚
幹線道路沿いに農業資材の店を出す。村の人々の農産物も町へと取り次ぐ。最近は友人と組み、有機の野菜栽培や淡水魚の養殖も行う。



サワン・ナンタボリスさん

(男性・48才・16期・98年度)
-農業 (野菜、養鶏、養豚)
農業の合間に象使いの仕事をしていたこともあったが、現在は農業の他、車の修理工場や土木関係の仕事に。



ポーディ・ファイサップディーさん

(女性・33才・17期・99年度)
-保健衛生、洋裁
村の布グループの活動強化を中心に生活改善に取り組んでいた。現在は家計を支えるためチェンマイで家政婦の仕事をしている。



ブンシー・ブチャレクライワンさん

(女性・31才・18期・00年度)
-保健衛生、洋裁
出稼ぎに出ていた夫も戻り、家族がそろって生活し、農業を営む。米と大豆をつくり、手織布のグループで活動する。



ナロンデツさん

(男・30才・19期・01年度)
-農業 (稲作、野菜)
米、大豆、落花生、トウモロコシなどを家族とつくる。近年は山の学校の教員となり、週末家に戻る生活を教える。



スラチさん

(男性・38才・20期・02年度)
-農業 (稲作、野菜)
米、落花生、唐辛子、ピーマンなどを栽培。農閑期には大工仕事や山の村で精米の仕事を行う。



チェンマイ県

ポケオ ウィラット・ソンセンさん

(男性・48才・4期・86年度)
-農業 (畜産、野菜)
帰国後、村での農業のほか農業指導センターの講師を勤めるなど日本で学んだ技術の普及に努めてきた。近年はバンコクの企業に勤務。



ベリア・スティダさん

(女性・48才・4期・86年度)
-保健衛生、栄養
タイカレンバプテスト会議に勤務するかたわら、週末には山村に出かけ生活改善指導を行ってきた。結婚とともに、ビルマに移住した。



ブラカシィ・コマさん

(男性・47才・5期・87年度)
-農業 (畜産、野菜)
いちご、牛、豚などの組合のリーダーを務める。またアメリカ支援のプロジェクトで村の貧しい人々、子どものための活動を行っている。



ムシキー ペリポーさん

(女性・44才・短期91年・17期・99年度)
-洋裁、保健衛生
環境NGOに勤めるアメリカ人と結婚、アジア各地を転々とする。毎年末には実家に帰省。



ブラチャック・ムアンチャンさん

(男性・35才・16期・98年度)
-農業 (野菜、養鶏、養豚)
結婚し、妻の村に移る。農業に加え、食料、雑貨の店を開業。一方で法律の勉強もし、多忙。



ポーディーヤさん

(女性・43才・24期・06年度)
-洋裁、保健衛生
布グループチョディの集会小屋にミシンを置き、メンバーにミシンを教える。チョディの他にお茶や手工芸品を販売するグループでも活動。



チャユーさん

(男性・41才・25期・07年度)
-農業、保健衛生、栄養
キャベツ、トマトなどの野菜、米を栽培。梅の加工も試みた。アミノ酸や木酢液、菌を自分でつくり、畑で利用。



ホイボン スラデさん

(男性・48才・26期・08年度)
-農業、保健衛生、栄養
海外の支援を得て村の幼稚園と学生寮を運営。村にも開発についての研修も実施している。



カラシン県サイナワン

ワラヤ・ジッジョンさん

(女性・46才・6期1班・88年度)
-農業 (畜産、野菜)、淡水魚
農業を通じて村の生活改善にとりくんでいたが現在は教員となり、バンコク郊外の小学校で教える。東北タイの村とのつながり役となっている。



サンコム・スィーチャロンさん

(男性・46才・7期・89年度)
-農業 (稲作、畜産)
村での活動の後、バンコクのNGOの職員としてスラム住民の生活改善に取り組む。



サウェー・ムアンチャンさん

(男性・53才・9期・91年度)
-農業 (稲作、畜産)
協同作業を行う農民グループを組織し、米、野菜の栽培、家畜の飼育に取り組む。



ノバドン・カヨムドツさん

(男性・35才・18期・00年度)
-農業 (稲作、野菜、農機)
農業グループのメンバーとして、野菜づくりを推進すると同時に、村に不足する機械修理の技術普及に努める。農閑期の仕事として飲食業も。



ケユーン・カヨータさん

(男性・39才・19期・01年度)
-農業 (稲作、野菜、農機)
米、野菜に加え、牛と淡水魚の養殖にとりくむ。特に牛はグループを作り取り組んでいる。

